

2024年12月期第2四半期 決算説明会



静岡ガス株式会社

TSE:9543

2024年8月9日

I.	第2四半期決算の概要	… 3
II.	年間の見通し	… 7
III.	中期経営計画の取り組み状況	… 13

注意	
----	--

- 本情報は、2024年8月9日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれています。
 - 経済・競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。
-

I. 第2四半期決算の概要

◎ 2024年2Q決算：減収減益

- ガス販売量は0.5%増加
→大口は新規開拓等による増加、
卸売は卸先への販売量減により減少、小口は気温影響等により減少
- 売上高はガス販売量が増加したものの原料費調整制度によるガス販売単価の下方調整等により、16.5%減少、経常利益は35.6%減少

	2023年2Q	2024年2Q	増減	前期比 (%)
● ガス販売量 個別 (百万m ³ ,45MJ)	789	793	+4	100.5
卸売	351	338	△13	96.3
大口	356	373	+18	104.9
小口	82	82	△0	99.2
● 売上高 (億円)	1,262	1,053	△208	83.5
● 経常利益 【タイムラグ補正後】 (億円)	72	120	+47	165.9
経常利益 (億円)	193	124	△68	64.4
スライドタイムラグ	+120	+4	△116	—

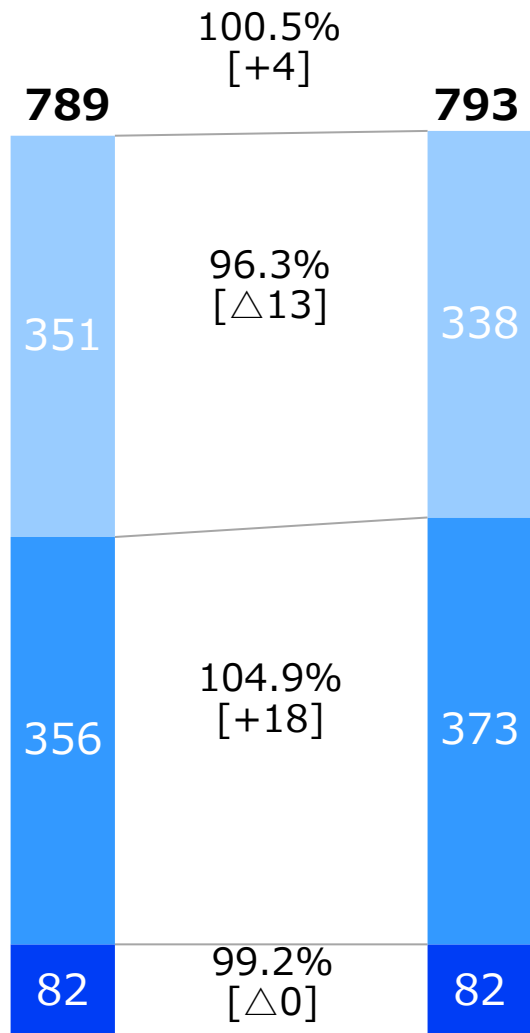
ガス販売量実績 個別



単位：百万m³(45MJ)

*[]内は、販売量増減（百万m³）を表示

*百万m³未満四捨五入



卸売 ・ 卸先への販売量減 [△13]

大口 ・ 2024年新規お客さまの開拓 [+16]
 ・ 既存のお客さまの販売量増 [+2]

小口 ・ 業務用の販売量減 [△0]
 ・ 家庭用の販売量減 [△0]

2023年2Q

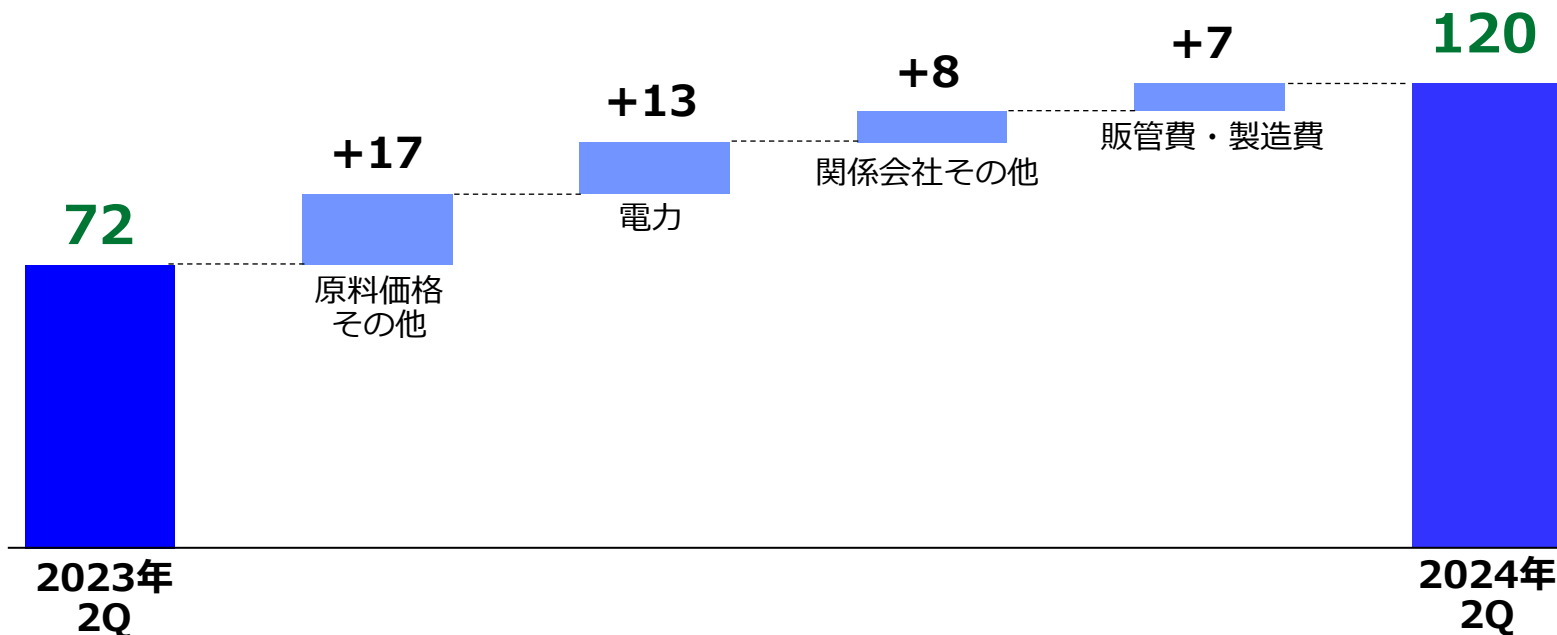
2024年2Q

経常利益の分析（対2023年2Q）



単位：億円
*億円未満切捨て

	2023年2Q	2024年2Q	増減
補正後経常利益	72	120	+47
経常利益	193	124	△68
スライドタイムラグ	+120	+4	△116



Ⅱ. 年間の見通し

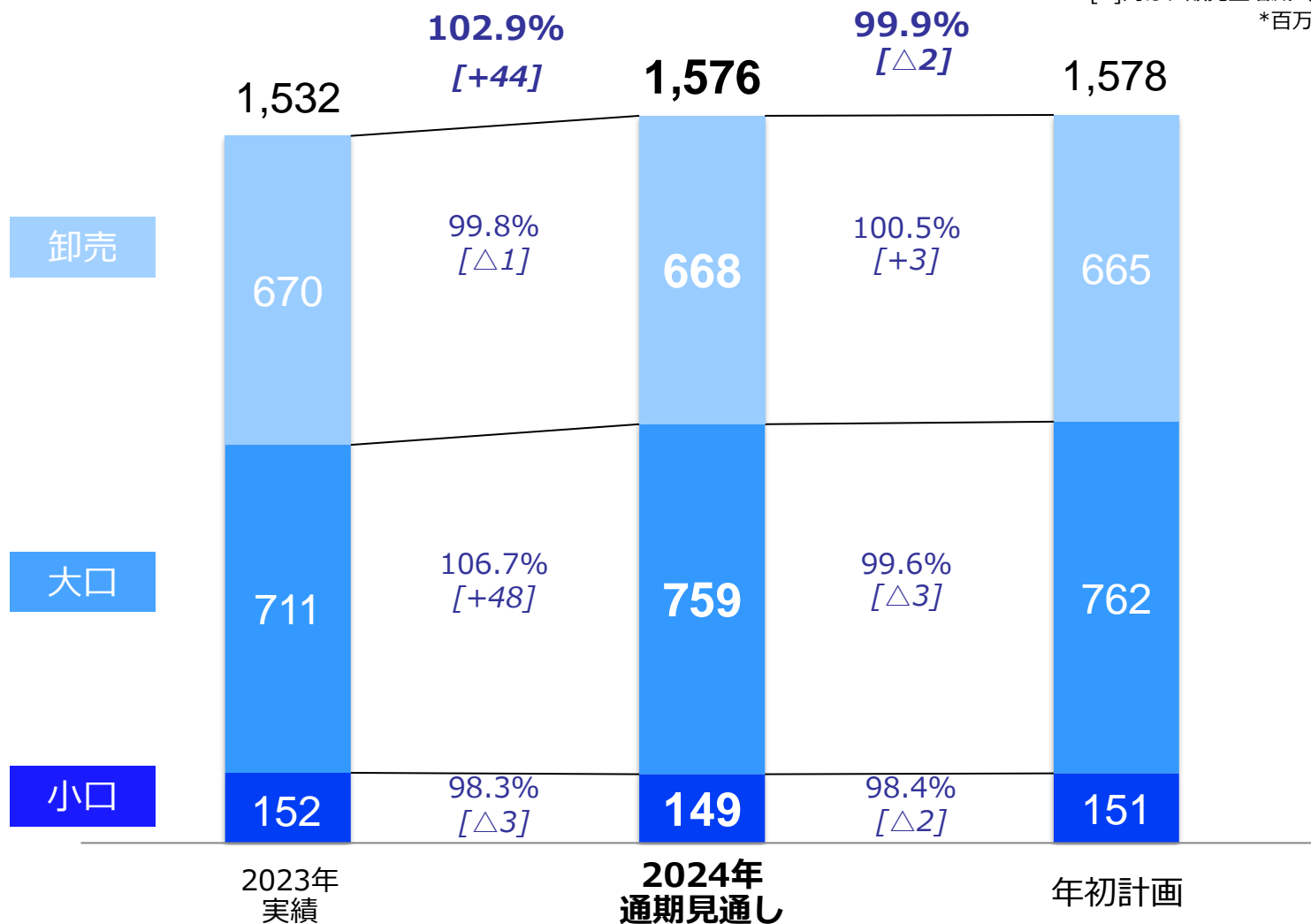
ガス販売量見通し 個別



単位：百万m³(45MJ)

*[]内は、販売量増減(百万m³)を表示

*百万m³未満四捨五入

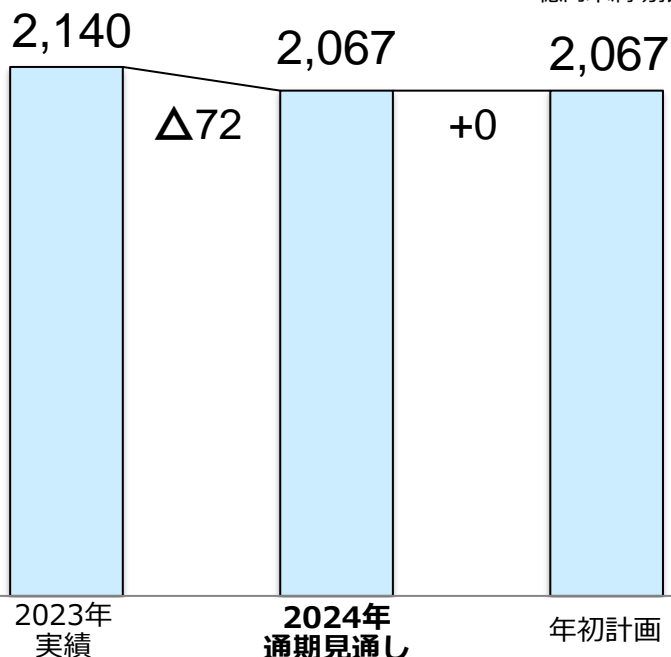


売上高/経常利益見通し



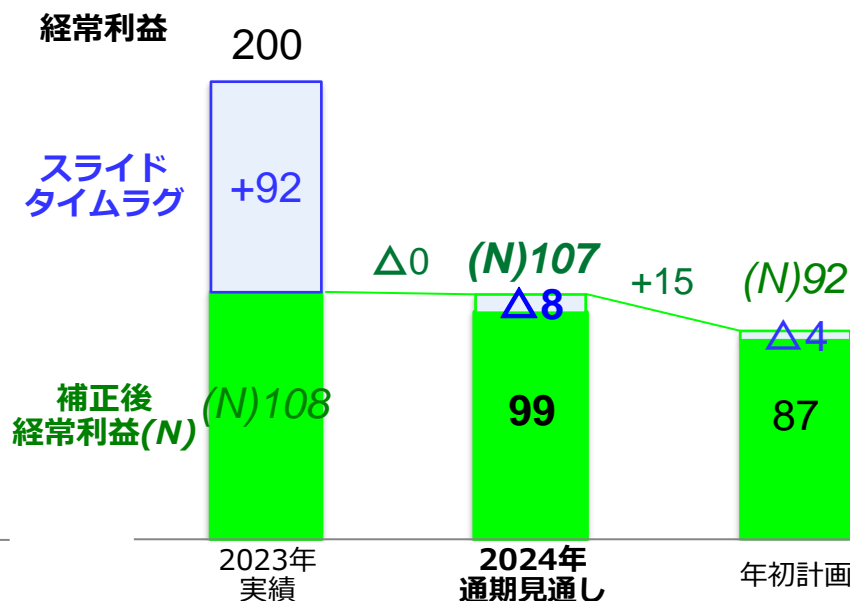
売上高

単位：億円
*億円未満切捨て



経常利益・スライドタイムラグ

単位：億円
*億円未満切捨て



	2024年 上期実績	2024年 下期想定
為替レート (円/\$)	150.9	160.0
原油価格 CIF (JCC) (\$/bbl)	85.8	90.0

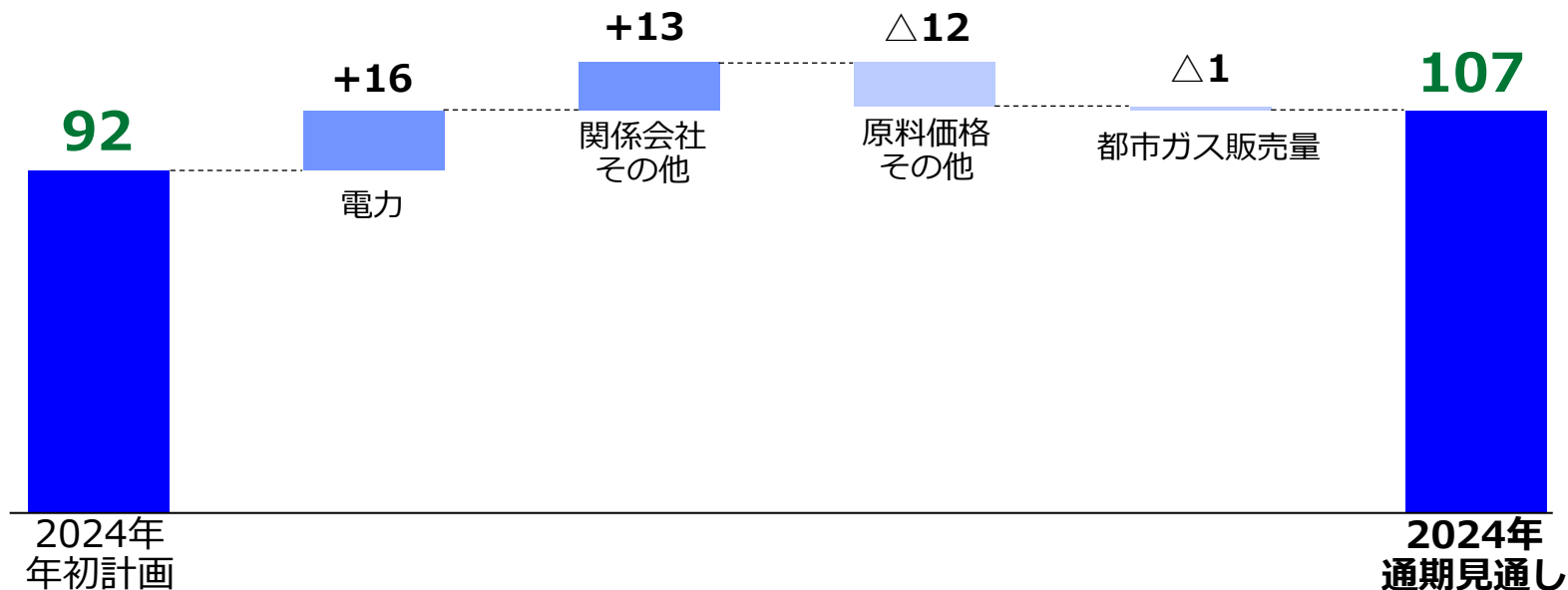
経常利益影響感度 (7月以降)	
(+) 1円/\$	Δ0.1億円
(+) 1\$/bbl	Δ1.2億円

経常利益見通しの分析（対年初計画）



単位：億円
*億円未満切捨て

	2024年 年初計画	2024年 通期見通し	増減
補正後経常利益	92	107	+15
経常利益	87	99	+11
スライドタイムラグ	△4	△8	△3



(参考) 為替レート・原油価格影響について

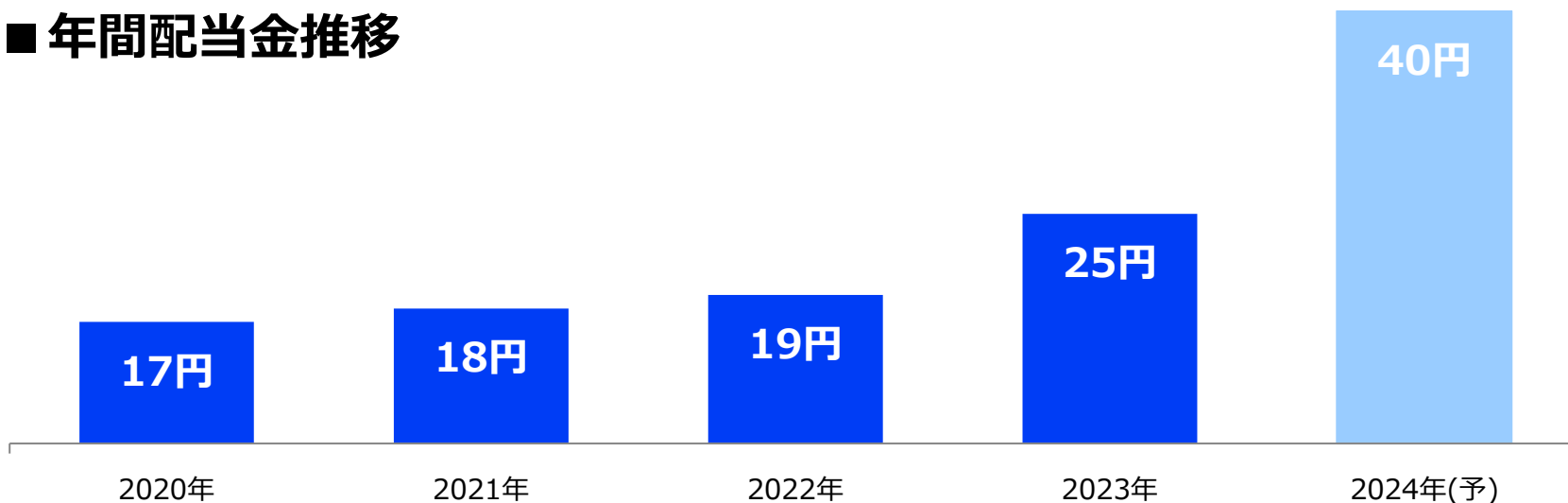


単位：億円
*億円未満切捨て

		営業利益	経常利益
2024年通期見通し		73	99
為替レート	160円/\$→150円/\$ (7月以降)	+10	+1
原油価格 CIF (JCC)	90\$/bbl→80\$/bbl (7月以降)	+12	+12
影響額 計		+22	+13
上記影響額織り込み後 の通期見通し		95	112

配当方針	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 安定配当 ➤ 業績と株主資本配当率 (DOE) '23年 1.85% → '24年 (予) 2.76% ➤ 配当性向3割 (目標水準) '23年 13.1% → '24年 (予) 47.6%
中間配当金	13.0円/株
期末配当金	27.0円/株 (予)

■ 年間配当金推移

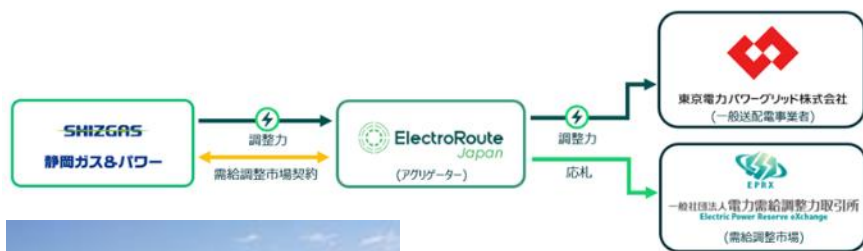


Ⅲ. 中期経営計画の取り組み状況

新たな収益源の獲得・お客さま基盤の拡大

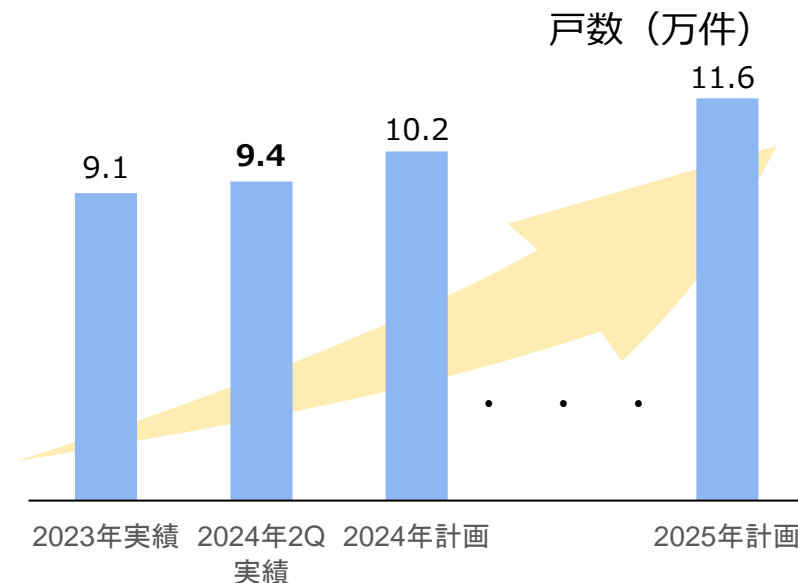
- 2023年末に増設した富士発電所の調整力を活用し、需給調整市場に参入。電力安定供給および再生可能エネルギーのさらなる普及拡大の両立を目指す。
- 新料金メニューやデマンドレスポンス、省エネ診断等を活用し、新たな顧客を獲得する。

需給調整市場に参入



富士発電所

電力使用中戸数



再エネ電源の活用

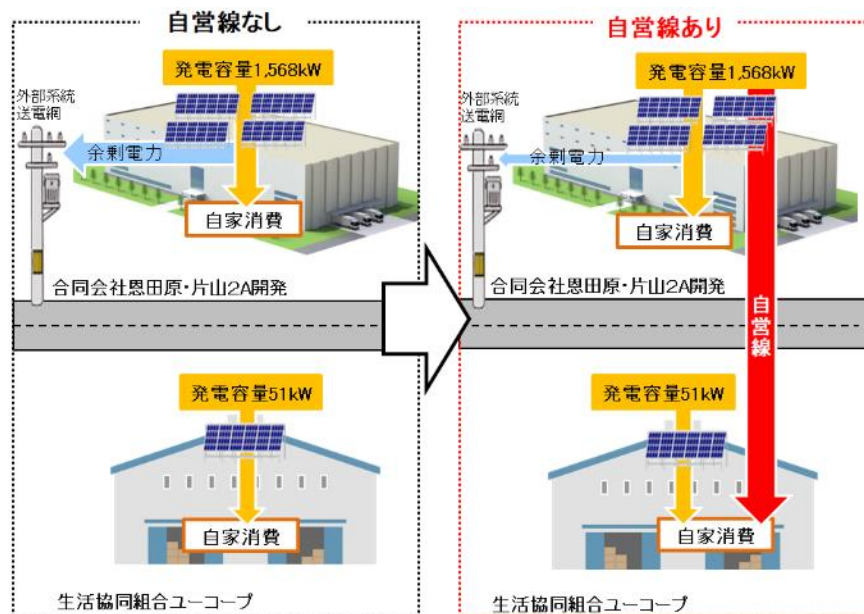
- オフサイトPPA※1による非化石価値※2付きの電力供給を開始。
- 静岡市の脱炭素先行地域「恩田原・片山エリア」において、太陽光パネルで発電した電力を当社グループが敷設した送電線（自営線）で企業間融通する取り組みを開始。

非化石価値付き電力供給



- ※1 PPA（Power Purchase Agreement）とは電力購入契約のこと。オフサイトPPAとは敷地外の遠隔地に設置された発電設備から電力を購入すること。
- ※2 再生可能エネルギーなどの非化石電源から生成された電力の環境価値。非化石価値の証書によりCO2を排出せず、環境部負荷をかけない電気を使用している証明になる。

自営線で太陽光電力の企業間融通



東南アジア、インドを中心とした事業展開の加速

- インドでのバイオガス生成・販売事業への出資参画。
- タイにおけるPPA事業の更なる拡大。

インドでのバイオガス事業への参画

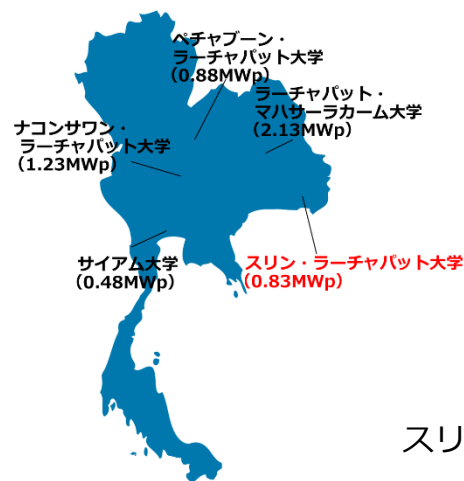


プラント



バイオCNGスタンド

タイにおけるPPA事業



スリン・ラーチャパット大学との
調印式 (2024/4)

会社名	Farm Gas Private Limited
事業内容	バイオガスの生成およびCNG自動車向け販売 肥料の生産・販売

会社名	VNET SG Power Co., Ltd.
事業内容	太陽光発電による電力供給事業

その他取り組み①

お客さまとの繋がり・地域連携

- 知育おもちゃのサブスクサービス「Toysub!」の提供を開始。
- 市民参画と公民連携により電力の地産地消と地域経済の循環を促進する取り組みを開始(しまだPay)。

「Toysub!」の提供を開始



「SHIZGASあなたのでんきで地域いきいき」を開始



新たな取り組み

- 家庭向けのハウスクリーニングサービス「エネリアハウスクリーニング」の提供を開始。
- 小型・分散型閉鎖循環式の陸上養殖システムを用いた陸上養殖のトライアルを開始。

「ハウスクリーニング」の提供開始

陸上養殖のトライアル開始



ヤイトハタと
海ブドウを養殖



養殖装置



SHIZOGAS

静岡ガスグループ